

水産の窓

水温は表層で「やや高め～高め」、底層(200m深)で「平年並～高め」で推移

(令和4年4月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果(4/11～12: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- ・水温は0m深で12～19℃台、50m深で10～18℃台、100m深で11～16℃台、200m深で6～13℃台でした(図2)。
- ・前月と比較すると、会瀬～鹿島定線の広い範囲で昇温傾向となりました。特に、会瀬定線では3～12℃と大きく昇温しました(図3)。
- ・平年と比較すると、0～100m深で「平年並」～「高め」、200m深で「やや低め」～「高め」となりました。
- ・潮流は犬吠埼定線の141° 30' E以東で真潮傾向、会瀬～鹿島定線の141° E～141° 40' Eの範囲で逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海面水温の現況

- ・本県海域の水温は15～18℃となっています(図1)。
- ・黒潮は犬吠埼の東80マイルを北東に流れています。黒潮の北限は144° E付近で38° Nまで達しており、北偏しています(4月20日発行の海洋速報より)。
- ・親潮第一分枝の南限は38° 30' N、143° E付近に位置しています。

3 今後1か月の見通し

- ・黒潮の北限位置は北偏傾向で、今後も継続する見込みです。
- ・黒潮からの暖水波及が今後も継続する可能性があります。
- ・親潮第一分枝は宮城県沖にあり、茨城県沿岸域への親潮系冷水の影響は弱い見込みです。
- ・1か月後の水温は、黒潮からの暖水波及の影響により、表層では「やや高め～高め」、底層(200m深)では「平年並～高め」となるでしょう。

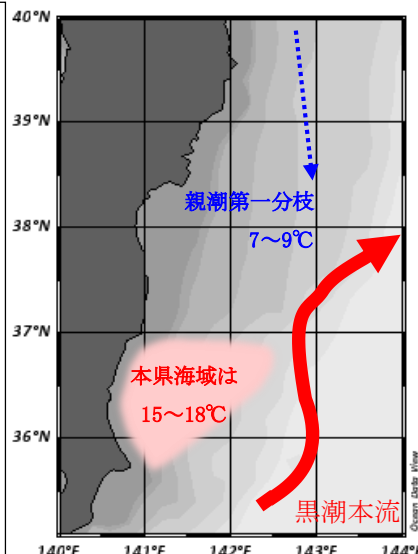


図1. 海面水温の現況
(4月19日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

(参考) 5月の表層水温(東経142度まで)の30年平均(1991-2020)
会瀬: 14～16℃台 大洗: 14～17℃台 鹿島: 14～18℃台 犬吠埼: 15～20℃台
詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

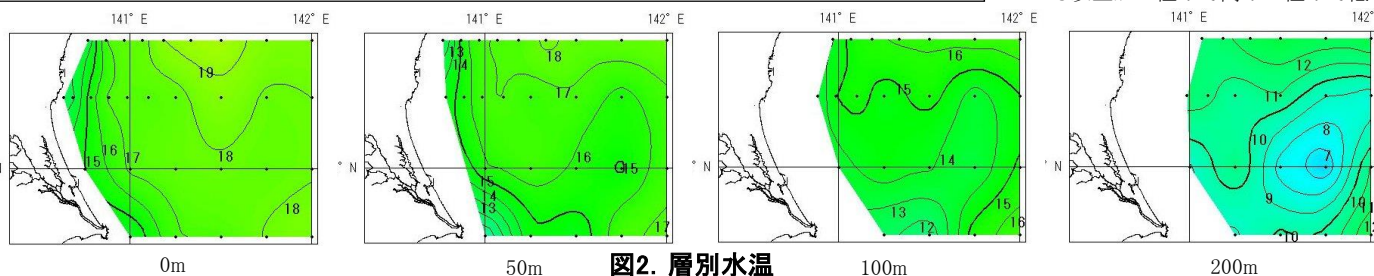


図2. 層別水温

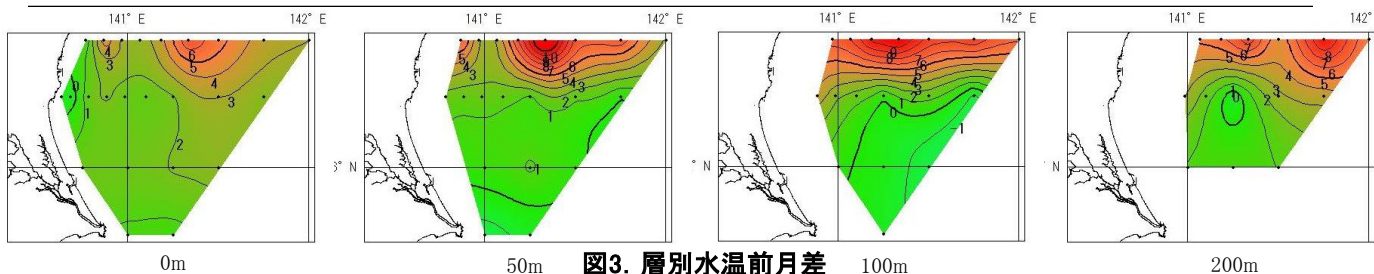


図3. 層別水温前月差

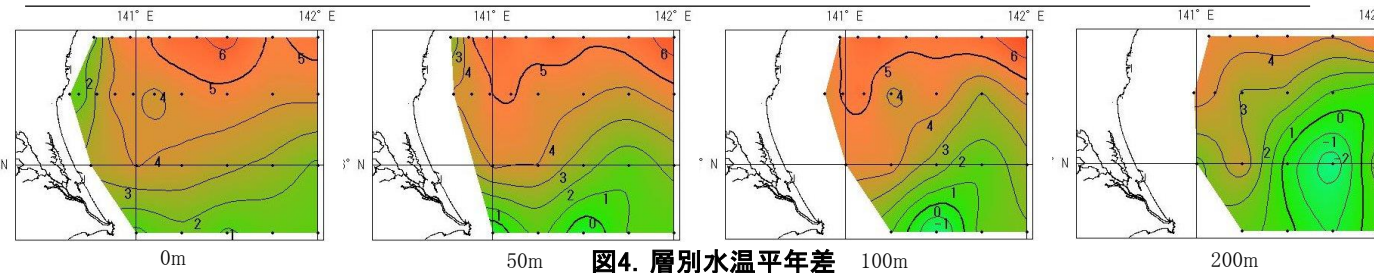


図4. 層別水温平年差

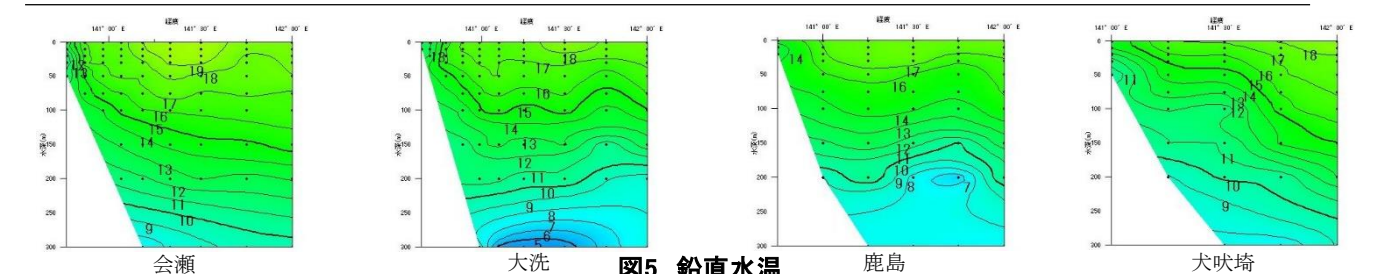


図5. 鉛直水温